2014 年度　研究調査事業実績報告書

１．［研究調査テーマ名］

モータースポーツ・アーカイブズ公開活動

２．［目　的］モータースポーツ関連の技術、文化に関する資料等の保存の重要性を啓蒙し、メーカ各社や個人、団体個々が保存活動を行うことを推進する。更にはそれらの公開を働きかけることにより、消滅の恐れのある技術情報を保存、公開する。これにより、モータースポーツひいては自動車技術への興味を喚起する。

３．［本研究調査事業の内容］

- テーマの策定：４～６月に主テーマを策定。どの時期のどういった項目を取り上げるか。
- 具体的活動内容の策定：６～７月に調査、インタビュー対象を決定、担当を割り当てる。
- 具体的な調査活動：７～１月に実施。
- 冊子編集作業：１０～３月に編集と発行準備。
- 冊子発行：３月発行。（３月のシンポジウムでの配布）
- 次号冊子への申し送り：課題、提案、読者からのフィードバック等の整理。

４．［本研究調査事業の成果］

成果について具体的にご記入ください。

（１）元日野自動車副社長、鈴木孝氏へのインタビューの実施およびそのまとめと編集を実施。

（２）株式会社ヨシムラジャパン社長、吉村不二雄氏へのインタビューの実施およびそのまとめと編集を実施。

（３）例年と同様にモータースポーツシンポジウムの講演を静止画及び動画で記録し、委員会として保存するとともに、一部の静止画（自動車技術会にご協力をいただいた）はメディア（日経オートモーティブ）に掲載された。また、動画の一部は、パネルディスカッション参加の高校生の海外留学申請書類に添付される形で活用された。

（４）上記 2 件のインタビューおよび前年のモータースポーツシンポジウムの様子を、冊子 2 号として編集、発行した。

５．委員会活動への影響

今回の研究調査において委員会活動へ影響した点についてご記入ください。

（１）インタビューおよびそのまとめを冊子記事として発行することにより、モータースポーツ部門委員会参加メーカ以外のモータースポーツ活動を知るきっかけを作ることができた。

（２）インタビュー記事や、モータースポーツシンポジウム紹介記事を冊子で公開、また、メディアに画像を提供することにより、幅広い人に部門委員会活動を紹介することができ、モータースポーツ、ひいては自動車技術への興味を喚起することができた。

（3）モータースポーツシンポジウムの講演、ディスカッション展示物の記録映像は、貴重なものであり、管理し、今後公開のための手順を作ることにより、広く自動車技術会会員の資産とすることを目指す活動を進めたい。

６．今回の研究調査結果について、発表方法を下記より選択してください（複数回答可）。

☐会誌への記事掲載（____年____月号を予定）
☐春季大会オーガナイズドセッションでの発表（_____年春季大会を予定）
☐春季大会フォーラムでの発表（_____年春季大会を予定）
☐シンポジウムでの発表（____年____月を予定）
☑出版物の発行（印刷物、ＣＤ－ＲＯＭ）（2015 年 3 月発行）
☑その他（具体的にご記入ください）

2015 年 5 月開催の自動車技術会春季大会会場で前年度発行の冊子 1 号とともに、今回発行した冊子 2 号を配布。

７．受給額と執行額

受給総額	160,000 円
執行総額	153,240 円

費　目	使用例	実際の使用内容	予算額(円)	執行額(円)
印刷製本費	資料印刷費、複写費、編集外注費、CD 製作費など	冊子印刷製本費	83,000 円	150,000 円
諸謝金	原稿料		30,000 円	3,240 円
通信運搬費	運送用レンタカー代、宅配料		7,000 円	
委託費	外部への委託費		20,000 円	
開発費	システム開発費			
資料購入費	参考資料、書籍等購入費		5,000 円	
物品購入費	実験に必要な部品類など			
消耗品費	燃料代、実験に必要な消耗品類			
臨時雇用費	アルバイト代			
その他			15,000 円	
		合計(円)	160,000 円	153,240 円

以上